

平成 16 年 2 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 茨城銀行  
代 表 者 名 取締役頭取 川嶋 烈  
問 合 せ 先 総合企画部長 溝田 泰夫  
(TEL.029-231-3174)

## 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期情報の開示について

当行の平成 16 年 3 月期 第 3 四半期（平成 15 年 10 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日）における四半期情報について、お知らせいたします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」および金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の趣旨等を踏まえ、任意の会社情報として開示しているものです。

なお、以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。

### 1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

平成 15 年 12 月末の金融再生法開示基準の開示債権額は 653 億 80 百万円で、平成 15 年 9 月末比 59 億 77 百万円減少いたしました。  
なお、平成 15 年 12 月末の金額は、現時点での資産内容の変動を正確に反映させるため 12 月末基準の自己査定に基づき算定しております。

(単位：百万円)

種 類	平成 15 年 12 月末	平成 15 年 9 月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,891	23,627	2,736
危 険 債 権	28,815	28,024	791
要 管 理 債 権	15,673	19,705	4,032
合 計	65,380	71,357	5,977

(注) 上記の平成 15 年 12 月末の計数は、12 月末を基準日として実施いたしました自己査定結果に基づき開示額を算定しているものです。

なお、新たに「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については、部分直接償却相当額として当該金額を減額しております。

## 2. 自己資本比率・Tier1 比率（国内基準）

平成 16 年 3 月期の自己資本比率は、第 3 四半期の損益状況が当初の予定どおり順調に推移していることから、5.4%程度に改善する見込みです。

項目	平成 16 年 3 月期（予想値）		平成 15 年 9 月期（実績値）	
	単体自己資本比率	単体 Tier 1 比率	連結自己資本比率	連結 Tier 1 比率
単体自己資本比率	5.4%程度	3.8%程度	5.16%	3.51%
単体 Tier 1 比率	5.4%程度	3.8%程度	5.19%	3.55%
連結自己資本比率	3.8%程度			
連結 Tier 1 比率				

（注）上記予想値は、経営環境等に関する前提条件の変化に伴い変動することがあります。

## 3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

平成 15 年 12 月末のその他有価証券の評価差額は、4 億 53 百万円の含み益となっております。一方、満期保有目的の債券は 1 億 2 百万円の含み損となっております。

### 《その他有価証券》

（単位：百万円）

種類	平成 15 年 12 月末				平成 15 年 9 月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
株式	8,523	1,046	1,405	359	7,660	781	1,122	341
債券	60,409	60	392	452	55,480	327	335	663
その他	13,854	532	250	782	10,168	483	200	683
合計	82,787	453	2,048	1,594	73,309	29	1,659	1,688

- （注）1. 平成 15 年 12 月末の時価は月末日の市場価格等で算出しております。  
 2. 評価差額については、償却原価法適用前、減損処理前の帳簿価額と時価との差額であります。  
 3. 平成 15 年 12 月末での実績値であり、平成 16 年 3 月末の予想値ではありません。  
 4. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

種類	平成 15 年 12 月末				平成 15 年 9 月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	10,649	102	95	198	6,050	46	106	152
子会社・関連会社株式	12	-	-	-	12	-	-	-

#### 4. デリバティブ取引（単体）

現在、当行では主にヘッジ目的でデリバティブ取引を利用していることから、資産価値が損害を被る可能性は極めて限定的なものであります。

##### （1）金利関連取引

該当する取引はありません。

##### （2）通貨関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成 15 年 12 月末			平成 15 年 9 月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-
	為替予約	165	-	-	103	-	-
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-

（注）従来、引直し対象としていた先物為替予約、通貨オプション等は、当期より上記に含めて記載しております。

##### （3）株式関連取引、債券関連取引、商品関連取引

該当する取引はありません。

##### （4）クレジットデリバティブ取引

当行の行うクレジットデリバティブ取引は合理的な時価がないため、保証に準じた取引として記載対象から除いております。

#### 5. 預金・貸出金の状況（単体）

預金残高は平成 15 年 9 月末比で 84 億 45 百万円増加しております。また、貸出金残高は個人ローンをはじめ堅調に推移し、平成 15 年 9 月末比 47 億 90 百万円増加しております。

##### （1）預金

（単位：百万円）

	平成 15 年 12 月末	平成 15 年 9 月末	増減額
預金計	714,610	706,165	8,445
うち個人預金	589,642	586,903	2,739

( 2 ) 貸出金

( 単位 : 百万円 )

	平成 15 年 12 月末	平成 15 年 9 月末	増 減 額
貸出金計	539,150	534,360	4,790
うち個人ローン残高	112,698	112,072	626
うち住宅ローン残高	83,839	83,283	556

以 上

本文書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

茨城銀行 総合企画部 主計・広報G  
( 担当 野口、面沢、横山 )

TEL 0 2 9 2 3 1 3 1 7 1 ( 代 )

TEL 0 2 9 - 2 3 1 - 3 1 7 4 ( 直通 )

FAX 0 2 9 - 2 3 1 - 3 1 4 4